

RETURNING TO THE STARTING POINT AS A DEVELOPER

デベロッパーとしての原点に立ち返る 橋本大輔 ファミリー 代表取締役社長

分譲マンション「FARNEST(ファネスト)」や新築戸建て「arune(アルネ)」を展開し、グループにはマンション管理、賃貸仲介・管理・売買仲介、不動産再販、リフォーム・リノベーション事業を揃え、ワンストップサービスを提供する総合不動産業・株式会社ファミリー(福岡市)の橋本大輔社長に新型コロナウイルス感染拡大による住宅業界への影響と今後の展望を聞いた。

text by TOKEI LIVING | photographs by TOKEI LIVING, FAMILY inc.



橋本大輔(はしもと・だいすけ)
1956年5月、熊本県出身。福岡大学
法学部卒。大手マンションデベロッ
パーを経て、1992年9月に㈱ファミ
リー設立。(一社)全国住宅産業協会
の理事、(一社)九州住宅産業協会理
事長。「令和元年春の叙勲」で黄綬
褒章を受章。

住まいへの関心・重要性は より高まっている

——新型コロナウイルスの感染拡大により社会が大きな転換期を迎えています。が、住宅業界全体への影響は。

橋本 モデルルーム等での販売活動の自粛、住宅設備の供給鈍化、不動産情報の流通鈍化など大きな影響がありました。しかし、このような状況下においても

暮らしの基本を成す「衣食住」の一部である住まいは必要とされるということを実感しました。お客様の声を拝聴する限り、リモートワークの普及や外出自粛によって自宅での滞在時間が増え、住まいへの関心・重要性はより高まっていますので、新型コロナウイルスの対策を行う事業活動を継続していく必要があると感じました。

——事業活動においてコロナウイルスへの

対策は、具体的にどのようなことを。

橋本 最も配慮すべき対策の一つに来場されるお客さまへの感染リスク対策があります。具体的な取り組みとして従業員のマスク着用徹底、モデルルームの換気および消毒など行っておりますが、今般においては完全予約制でのお客さまのご案内、お客さま同士のソーシャルディスタンスを確保するための同時時間帯におけるご案内組数の制限、発熱が見られるお客さまの来場のご遠慮など、従業員のみならずお客さまにも新型コロナウイルス対策にご協力をいただいております。コロナ禍においても事業が円滑に継続できている現状です。

——新築分譲マンション市場への影響は。

橋本 緊急事態宣言解除後にモデルルームをオープンし、7月に販売を開始したファネスト博多ヴァリスにつきましては2カ月で全戸ご成約、ファネスト姪浜ルシエにつきましては2カ月で6割のご成約と、新築分譲マンション市場におけるお客さまの住宅需要の底堅さを実感いたしました。このように住宅需要が高まっている時期こそ、デベロッパーとして良い立地、適正な価格、満足いただける商品を追求め、より良い住まいを提供できるよう邁進していく必要があると感じています。

——2019年から戸建建売事業をスタートしていますが、新築戸建市場につい

ては。

橋本 やはり底堅い需要を維持しているように思います。一時期は新型コロナウイルスの影響により中国からの物流停滞が発生し、ユニットバスや食器洗い洗浄機など住宅設備の流通に停滞が見られましたが、現状ではそのような遅れも解消されています。

実績に恥じない住まいづくりを徹底

——コロナ禍においても新築戸建て「arune」シリーズも新たな事業として堅調な成長が期待できそうですね。

橋本 戸建て事業グループが発足して1年と数カ月が経過しようとしております。組織としてまだ未成熟な部分もありますが、会社設立から28年にわたり住まいの提供を続けてきたファミリーの実績に恥じぬようお客さまに満足いただける住まいづくりを徹底しております。分譲マンション事業を通じ、これまで培ってきた商品づくりのノウハウ、お客さまより頂戴してきたたくさんの声を戸建建売事業に生かし、より多くの皆さまに愛される住まいとして提供できるよう商品企画を行っております。将来的にはファネストシリーズと並ぶ、当社の事業の大きな柱の一つにしたいと考えています。

——新築分譲マンション・ファネストシリーズは現在93棟目と実績を重ねて来られましたが、これから100棟目に向けての思いは。

橋本 直近では92棟目のファネスト姪浜ルシエ、93棟目のファネスト博多ヴァリスの販売を手がけました。お陰さまでいずれの物件も順調に販売が進捗しています。今後も福岡のみならず、長崎、鹿児島といった九州エリアでの継続供給

を予定しており、既に100棟目までの用地取得の大方の目途がついている状況です。100棟という実績は数字としても我々にとって一つの大きな節目ですが、それ以上にこれまで積み重ねてきたお客さまの信頼の証であると思います。これからも驕ることなくお客さまの信頼に応え続けられるよう、事業継続の励みとしていきたいと思っています。



ファネスト姪浜ルシエ



ファネスト博多ヴァリス

より安心安全にお客さまに 満足いただける住まいを提供する

——2020年5月に九州住宅産業協会理事長に就任されましたが、九州不動産業界発展への思いをお聞かせください。

橋本 この度、諸藤元理事長の後任として、九住協理事会のご推挙により理事長に就任いたしました。前任の諸藤元理事長におかれましては10年という永きに渡

る理事長職の活動を通して、職責を全うし九州不動産業界の発展に大きく貢献してこられました。これまで理事長職を務めてこられた方々の功績に恥じぬよう、九州の住宅産業の発展という使命を全うしていく所存です。現在はコロナ禍において地場企業として我々ができる役割を模索していますが、組織強化、会員の資質向上に今以上に積極的に取り組み、行政に対する提案力もつけていきたいと考えています。それが業界全体を盛り上げ、ひいては地域社会への貢献につながると思っています。

——新型コロナウイルスの流行により今しばらくは先行きが見通しづらい状況が継続していくと思いますが、今後の展望をお聞かせください。

橋本 我々、デベロッパーに求められる役割は不確かな経済の予測ではなく、お客さまの生の声をしっかりと聞いて「より安心安全にお客さまに満足いただける住まいを提供する」という使命の全うであると思います。先行きが予見しづらい現状だからこそあまり悲観的になりすぎず、デベロッパーとしての原点に立ち返り、自社の理念に忠実にお客さま満足を追求していきたいと考えています。これからはさまざまな形で困難が訪れるかもしれませんが、それに立ち向かい乗り越えた先には成長や進化が待っていると信じています。困難に立ち向かい、より遅くなったファミリーグループが、より高い水準でお客さま満足を追求できるよう努めてまいります。



福岡市中央区天神5-7-1 ファネスト天神ビル
TEL.092-722-5000

www.farnest.co.jp